

## 働くことを軸とする安心社会を実現しよう! —2011 春季生活闘争総決起集会を開催—



(中部地協3/3)



(東部地協3/4 左:あいさつする西川議長 右:団結ガンパロウ!) (西部地協3/4 左:会場に集まる参加者 右:デモ行進)

連合鳥取は、3月3日(木)、4日(金)県内3会場で「2011 春季生活闘争勝利総決起集会」を開催し、「すべての労働者の処遇改善」に向けた2年目の闘いと位置づけ、総勢2,300人の参加者が氣勢をあげました。

このうち3日に倉吉体育文化会館前広場で開催した「中部地協春闘勝利総決起集会」には大雪の中、組合員や退職者の会などから約500人が参加しました。

連合鳥取を代表してあいさつに立った五十嵐会長は、「1点目として、今次春闘は昨年引き続き『すべての労働者の処遇改善に向けた取り組み』を進めていく。全体の処遇改善が図られることによって、労働者全体の賃金の底割れを防ぎ、個人消費の喚起と経済の活性化に繋げていかなければならない。2点目として、『賃金カーブ維持と1%を目安に賃金を含め適正な配分をする』こと。鳥取県内の多くの企業は定昇制度すらないのが実態である。実質賃金の低下を阻止するためには、必ず賃金カーブの維持が必要である。3点目として、『政策実現』である。この4月に行われる統一地方選挙での県知事選挙・県議会議員選挙の、我々の推薦候補の必勝に向けて最後まで闘い抜くことを願う。」と述べ、各構成組織、組合員の奮起を促しました。

集会では、今次春闘に対する産別の決意表明の後、「ニッポンの働“力”連合」は、すべての働

く者とその家族の幸せの実現に向け、さらには統一地方選挙の必勝に向け全構成組織が最後まで闘い抜く。」という内容の集会アピールを採択しました。

集会後、デモ行進を予定していましたが、吹雪となったため中止しました。

### 「期日前投票」を活用しよう!

- 「期日前投票」の方法  
 投票日に投票に行けない方は前もって投票しましょう。手続きはかんたんです。
- 出張などの仕事や冠婚葬祭などの予定のある方
  - 旅行などの予定が入っている方
  - 入院や出産などでその日に投票に行けない方
  - ◆ 投票できる期間は、告示日の翌日から投票日の前日まで
  - ◆ 投票できる時間は8:30～20:00までです
  - ◆ 投票場所は、選挙人名簿に登録されている市区町村の「期日前投票所」です
  - ◆ 詳しくは市区町村の選挙管理委員会に確認してください

統一地方選挙 鳥取県知事選挙 鳥取県議会議員選挙 投票日	月	火	水	木	金	土	鳥取県知事選挙告示日
			3/23	24	25	26	
	27	28	29	30	31	1	2
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	鳥取県議会議員選挙告示日				

それぞれの告示日翌日から  
毎日が投票日

原動力連合  
 第17回統一地方選挙  
 よくわかる・すぐわかる投票方法

投票に行こう!



# 2011春季生活闘争特集

## ◆単組代表者会議（東・中部地協）、産別代表者会議（西部地協）を開催

連合鳥取2011春季生活闘争方針を共通認識とするため、東部・中部・西部地協は「単組代表者会議（産別代表者会議）」を開催しました。

それぞれの会議では、連合鳥取より春闘方針についての説明を行い、その後、各地協の具体的な取り組み（春闘総決起集会、街宣活動など）について確認しました。



質問する組合役員  
(2011.2.14 / 東部地協)



熱心に説明を聞く参加者のみなさん  
(2011.2.16 / 中部地協)



あいさつする中島議長  
(2011.2.4 / 西部地協)

## ◆経営者団体との意見交換会を実施

2月8日(火) 対翠閣にて2011春闘の取り組みの一環として、雇用問題、労働基準、賃金・労働時間等について、鳥取県経営者団体と建設的な意見交換を行いました。

意見交換では、連合鳥取側から「景気が回復傾向にあることから賃金を引き上げ、個人消費を喚起し、経済の活性化を図るべき」と主張。これに対し、経営者団体は、「景気が回復傾向と言われているが鳥取県の経済情勢はまだまだ厳しい状況である。失業者が多い中、賃金より雇用を重視して考える必要がある。」と述べ、両者の主張は平行線となりました。



経営者団体

連合鳥取

## ◆守らせよう!働くルール 全国一斉労働相談キャンペーンを実施

2月14日(月)～16日(水)の3日間、2011春季生活闘争・全国一斉労働相談キャンペーンを実施しました。連合鳥取では各日とも10時から20時まで非正規労働センターにおいてフリーダイヤルによる相談と面談を実施し、就業規則や退職に関するトラブルなど10件の相談がありました。

全国では1100件近い相談が寄せられ、労働者本人のみならず家族からの相談も多く寄せられました。相談項目で最も多かったのは「解雇・退職強要・雇止め」12.6%、ついで「賃金未払い」9.6%、「不払い残業・休日手当・割増賃金未払い」9.2%が続き、賃金関係が全体で18.8%と高い割合を占めていました。





連合鳥取では通年的にフリーダイヤルによる労働相談を受け付けています。1月から吉田組織アドバイザーが就任していますので、ご家族、知人等で労働について悩んでいる方がいらっしゃいましたらフリーダイヤル0120-154-052をご紹介します。



相談を受ける吉田組織アドバイザー

### 春闘学習会資料

### 〈諸外国の定期労働契約法制〉

	ドイツ 	フランス 	イギリス 	韓国 
定期労働契約締結理由の制限	2年間までなし 2年間を超える場合は、客観的な理由により正当化される場合のみ可	無期労働契約が原則 締結事由に制限あり 違反時：無期みなし・賠償金支払い・刑事罰	なし	なし
勤続年数・更新回数の上限	更新回数制限なし(期間の定めが正当化される場合) 正当化されない場合最長2年まで。その間更新は3回まで(原則) 違反時：無期みなし	最長18ヶ月 更新は1回限り 更新時：正当事由が必要 違反時：無期みなし・賠償金・刑事罰	最長4年 その間原則更新回数制限なし	最長2年 更新回数制限なし 違反時：無期みなし
期間満了時における雇止めのルール		期間満了時：無期契約での継続が提示されなかった場合、契約終了手当義務		なし
正当事由がない場合の均等待遇・差別的取扱いの禁止	あり	あり	あり	あり

■出所：厚生労働省「第5回定期労働契約研究会資料」等を基に作成

# 第17回統一地方選挙特集

## ■鳥取県知事選挙■



**平井しんじ**

〈座右の銘〉人は城、人は石垣、人は堀

〈活動指針・政策目標〉

- ・パートナー県政
- ・産業未来・雇用創造
- ・暮らしに安心
- ・人材とっとり
- ・彩り、輝き—鳥取の誇り

〈経歴〉・1961年9月生(49才)

- ・2001年6月 全国最年少で鳥取県副知事
- ・2007年4月 鳥取県知事選挙初当選 鳥取県知事就任

## ■鳥取県議会議員選挙■

選挙区	鳥取市選挙区		倉吉市選挙区
名前	<b>坂野 けいさぶろう</b>	<b>山田 ゆきお</b>	<b>おきはる 英夫</b>
好きな言葉・座右の銘	意思あるところに道は通ず	信頼と絆	きたみちも ゆくみちも すべて我が決めた道
理念・活動指針・政策目標等	<b>誇りのふるさとを創る</b> ●皆が笑って暮らせるとっとり ●鳥取県の経済を元気にする! ●鳥取の心の豊かな生活を守る! ●鳥取の政治を変える!	<b>格差は正の実現をめざして!</b> ●実質・公平公正な県政の実現 ●地域主権改革の確立 ●安心できる福祉・教育社会の確立 ●活力ある地域産業の育成 ●環境立県の実現	<b>県民の生活第一へ あくなき挑戦 とっとりから国を突き動かす</b> ●打って出る産業と雇用の場づくり ●安心して暮らせる地域社会づくり ●子育て、教育の充実による人材づくり
経歴	・1983年8月生(27才) ・元海上自衛官	・1952年4月生(58才) ・元鳥取市議会議員4期 ・鳥取県議会議員2期	・1957年2月生(54才) ・元倉吉市議会議員4期 ・鳥取県議会議員2期
選挙区	東伯郡選挙区	境港市選挙区	西伯郡選挙区
名前	<b>伊藤 たもつ</b>	<b>森岡 としお</b>	<b>福間 ゆたか</b>
好きな言葉・座右の銘	One for all, all for One ~ひとりみんなのために みんなひとりのために~	一夫義に立てば回天の業成る 高杉晋作	「ハチドリ」のひとしづくし~いま、私にできること~
理念・活動指針・政策目標等	<b>子どもたちの未来のために</b> ●安全、安心、信頼に基づいた共生の地域を ●あらゆる差別を解消し、尊厳のある社会を ●「生きる力」を育て、個性輝く教育を ●所得政策重視の地域産業の再生を ●環境に配慮したやさしい鳥取県を	<b>しあわせの大漁旗をたてよう</b> ●アジア大交流時代を見据えて環日本海交流で地域の発展を ●水産業を育て基幹産業を守ります ●子育て・福祉に優しい社会づくり	<b>みんなに公正 みんなと共生</b> ●環日本海交流に県の活路を見出す ●農業を育て中山間地を守る ●尊厳を持って暮らせる社会づくり
経歴	・1952年10月生(58才) ・元赤崎町職労委員長 ・鳥取県議会議員3期 ・元自治労県本部町評議会議長	・1959年9月生(51才) ・元境港市議員議員2期 ・鳥取県議会議員1期	・1942年2月生(69才) ・JR西労組地方議員団会議議長 ・元連合鳥取事務局長 ・鳥取県議会議員4期
選挙区	米子市選挙区		
名前	<b>池田 博子</b>	<b>浜田 たえこ</b>	<b>森 まさき</b>
好きな言葉・座右の銘	万人は一人のために一人は万人のために	優しく生きる~目を凝らし耳をすまし心を寄せる~	先ず隈より始めよ
理念・活動指針・政策目標等	<b>子どもたちのために幸せて明るい未来を!!</b> ●子育て支援の充実 ●地域の安全・安心の確保 ●高齢者や障がい者への支援 ●差別のない社会の実現 ●地域の活性化・雇用の確保拡大	<b>みなさんの声を県政に!</b> ●子育て環境の充実 ●生活を守るための雇用拡大 ●命を守る農林業・漁業の支援	<b>創ろうみんなでのやかなまを</b> ●子育て支援の充実 ●民自治の実現 ●権限を市町村へ ●議会改革 ●社会実践的な高校教育 ●農林水産業の発展 ●環境行政の推進 ●人権施策の推進
経歴	・1971年6月生(39才) ・NPO法人ひまわり倶楽部監事 ・米子子ども支援センター代表	・1945年4月生(65才) ・元山陰放送K.K.アナウンサー ・鳥取県議会議員2期	・1959年11月生(51才) ・前米子市議会議員2期 ・米子市職労委員長 ・元自治労県本部副委員長

# 女性委員会「3.8国際女性デー」全国統一行動一街宣活動を実施

連合は春季生活闘争の一環として「3.8国際女性デー全国一斉行動」に取り組んでいます。

連合鳥取女性委員会では3月3日(木)中部、3月4日(金)東部・西部の各地協春季生活闘争総決起集会において、国際女性デーアピールの採択やティッシュ配布を実施しました。



西部会場でのティッシュ配り



東部会場でアピールを読み上げる吉田女性委員長

## 3.8国際女性デーとは…

- ◆1857年3月8日、ニューヨークの被服工場で働く女性達が低賃金・長時間労働に抗議を行ったことが「3.8国際女性デー」の起源です。
- ◆3月8日には、世界中で女性たちが「女性の政治的自由と平等」のために行動しています。



3.8シンボルマーク:「パン」は賃金・労働条件の向上を、「バラ」は女性の尊厳・人権の確保を表しています。

## Information

### 第82回鳥取県メーデー大会

- 実施日 2011年 5月1日(日) 9時30分～
- 県内3地区で開催 (中央大会=東部)

#### メインスローガン

「すべての働く者の連帯で、  
働くことを軸とする安心社会と  
自由で平和な社会をつくらう！」

\*各地域メーデー大会の詳細が決定期次、ご案内いたします。  
(HPでもご案内いたします)

### メーデー川柳 作品募集

◎メーデースローガンをテーマとした川柳を募集します。

#### 【応募要領】

- ◇表彰 最優秀賞 (1点)
- 優秀賞 (3点)
- 佳作 (6点)

入選作品はメーデー大会当日に配布する資料に掲載するとともに、各会場で表彰いたします。

- ◇応募 各単組より2点程度
- ◇締切日 4月1日(金) 連合鳥取必着

### 産別・単組活動紹介

#### ◇運輸労連◇

運輸労連はトラック運輸産業で働く仲間が集まる産業別労働組合であり、鳥取県連合会は7単組、407名の組合員で構成されています。

トラック運輸産業を取り巻く状況は、安全・環境に対するコスト増と過当競争による運賃・料金下落により年々悪化していますが、産業内の諸課題解決と組織の拡大・強化に向けた運動を展開するとともに、「ボウリング大会」や「春闘学習会」などを開催し、家族を含めた単組間の交流をはかっています。

私たちの職場は皆様が利用する道路が中心です。これからも交通事故ゼロを目標に、人と地球にやさしい運転でトラック運輸産業に対するイメージ向上をはかるよう努力しますのでよろしくお願い致します。



春闘勝利ガンバロー！  
(2011.2.3/運輸労連「春闘学習会」)

## 「行き先不透明」

「マニフェスト」という意味を調べてみると、政権公約。選挙公約集。選挙の際に政党や候補者が有権者に示す政策要綱のことです。政策の目標数値・達成期限・財源・工程などが具体的に明示された選挙公約である、とありました。

▼政党がマニフェストを掲げることの意味は、私たちが有権者に対して具体的な政策を示すことにより政策本位の投票行動を促進して、具体的な政策を競って行った選挙の結果、政権担当者はマニフェストで掲げた政策を実現に移すことが最大の任務であり責任を果すことだと思ふのですが、残念ながら、現在の民主党政権にそのことを期待するのは無理なように思います。

▼「国民生活第一」を掲げて「事業仕分け」が政治的キャンペーンとして人気を集めました。キャリア官僚の天下りや、独立行政法人、社団法人の実態が明らかにされたのは情報公開として意義がありました。一方で、無駄を削減するために費用対効果という物差しを当ててはならない領域にまで当てはめて無駄削減を地域住民や地方自治体に押し付けたことは大きな間違いだったと思います。地方の立場や現状を理解しない、上から目線、東京目線だったと思うのです。国を率いる信頼できるリーダーが現れることに期待をしています。(まだまだ小僧)

